



新潟県の腎医療  
腎臓にやさしさを



透析導入患者数は、慢性糸球体腎炎、糖尿病腎症、腎硬化症の3種類に分類される。慢性糸球体腎炎は、腎臓の糸球体が炎症を起こし、正常な働きを失ってしまう。糖尿病腎症は、糖尿病が長年続くと、腎臓の糸球体にダメージを与え、正常な働きを失ってしまう。腎硬化症は、高血圧や糖尿病などの病気によって、腎臓の糸球体が硬くなり、正常な働きを失ってしまう。

慢性糸球体腎炎は、腎臓の糸球体が炎症を起こし、正常な働きを失ってしまう。糖尿病腎症は、糖尿病が長年続くと、腎臓の糸球体にダメージを与え、正常な働きを失ってしまう。腎硬化症は、高血圧や糖尿病などの病気によって、腎臓の糸球体が硬くなり、正常な働きを失ってしまう。

慢性糸球体腎炎は、腎臓の糸球体が炎症を起こし、正常な働きを失ってしまう。糖尿病腎症は、糖尿病が長年続くと、腎臓の糸球体にダメージを与え、正常な働きを失ってしまう。腎硬化症は、高血圧や糖尿病などの病気によって、腎臓の糸球体が硬くなり、正常な働きを失ってしまう。

慢性糸球体腎炎は、腎臓の糸球体が炎症を起こし、正常な働きを失ってしまう。糖尿病腎症は、糖尿病が長年続くと、腎臓の糸球体にダメージを与え、正常な働きを失ってしまう。腎硬化症は、高血圧や糖尿病などの病気によって、腎臓の糸球体が硬くなり、正常な働きを失ってしまう。



小田敏三  
新潟日報社常務取締役

最近の調査結果では、本県の新規透析患者数が全国平均より3割少ないということです。成田 新潟大学医学部が調査した結果を2008年に日本透析医学会に提出した論文で報告しました。全国的に注目されています。

慢性腎臓病(CKD)については情報があふれていて、私たちは分かっているつもりでも、まだ知られていない部分も多い。そもそも腎臓とはどのような臓器なのでしょう。

成田 そうですね。正常な腎臓の働きを知ると理解が早いと思います。腎臓は尿を作る臓器で、尿を作ることで老廃物や有害物質を体外に出す。同時に体の中の水分量、ナトリウムなど、体液の電解質の恒常性を保つだけでなく、血液を作らせるエリスロポエチンというホルモンを分泌します。また、血圧の調節をするホルモンを出したり、骨、カルシウムの代謝に関わったりするなどいろいろな複雑な働きをしています。

慢性腎臓病(CKD)で人工透析をしている人は全国で30万人以上で、今も増え続けています。だいたい500人に1人の割合です。人工透析を受けると、年間一人当たりおよそ550万円かかるというわれています。国民全体の医療費の4~5%を占め、また医療者の人的資源を消費してしまうので、数年前から「早く発見して早く改善しよう」とキャンペーンを展開しています。

慢性腎臓病(CKD)で人工透析をしている人は全国で30万人以上で、今も増え続けています。だいたい500人に1人の割合です。人工透析を受けると、年間一人当たりおよそ550万円かかるというわれています。国民全体の医療費の4~5%を占め、また医療者の人的資源を消費してしまうので、数年前から「早く発見して早く改善しよう」とキャンペーンを展開しています。

慢性腎臓病(CKD)で人工透析をしている人は全国で30万人以上で、今も増え続けています。だいたい500人に1人の割合です。人工透析を受けると、年間一人当たりおよそ550万円かかるというわれています。国民全体の医療費の4~5%を占め、また医療者の人的資源を消費してしまうので、数年前から「早く発見して早く改善しよう」とキャンペーンを展開しています。

慢性腎臓病(CKD)で人工透析をしている人は全国で30万人以上で、今も増え続けています。だいたい500人に1人の割合です。人工透析を受けると、年間一人当たりおよそ550万円かかるというわれています。国民全体の医療費の4~5%を占め、また医療者の人的資源を消費してしまうので、数年前から「早く発見して早く改善しよう」とキャンペーンを展開しています。

慢性腎臓病(CKD)で人工透析をしている人は全国で30万人以上で、今も増え続けています。だいたい500人に1人の割合です。人工透析を受けると、年間一人当たりおよそ550万円かかるというわれています。国民全体の医療費の4~5%を占め、また医療者の人的資源を消費してしまうので、数年前から「早く発見して早く改善しよう」とキャンペーンを展開しています。

慢性腎臓病(CKD)で人工透析をしている人は全国で30万人以上で、今も増え続けています。だいたい500人に1人の割合です。人工透析を受けると、年間一人当たりおよそ550万円かかるというわれています。国民全体の医療費の4~5%を占め、また医療者の人的資源を消費してしまうので、数年前から「早く発見して早く改善しよう」とキャンペーンを展開しています。

慢性腎臓病(CKD)については情報があふれていて、私たちは分かっているつもりでも、まだ知られていない部分も多い。そもそも腎臓とはどのような臓器なのでしょう。

成田 そうですね。正常な腎臓の働きを知ると理解が早いと思います。腎臓は尿を作る臓器で、尿を作ることで老廃物や有害物質を体外に出す。同時に体の中の水分量、ナトリウムなど、体液の電解質の恒常性を保つだけでなく、血液を作らせるエリスロポエチンというホルモンを分泌します。また、血圧の調節をするホルモンを出したり、骨、カルシウムの代謝に関わったりするなどいろいろな複雑な働きをしています。

慢性腎臓病(CKD)で人工透析をしている人は全国で30万人以上で、今も増え続けています。だいたい500人に1人の割合です。人工透析を受けると、年間一人当たりおよそ550万円かかるというわれています。国民全体の医療費の4~5%を占め、また医療者の人的資源を消費してしまうので、数年前から「早く発見して早く改善しよう」とキャンペーンを展開しています。

慢性腎臓病(CKD)で人工透析をしている人は全国で30万人以上で、今も増え続けています。だいたい500人に1人の割合です。人工透析を受けると、年間一人当たりおよそ550万円かかるというわれています。国民全体の医療費の4~5%を占め、また医療者の人的資源を消費してしまうので、数年前から「早く発見して早く改善しよう」とキャンペーンを展開しています。

慢性腎臓病(CKD)で人工透析をしている人は全国で30万人以上で、今も増え続けています。だいたい500人に1人の割合です。人工透析を受けると、年間一人当たりおよそ550万円かかるというわれています。国民全体の医療費の4~5%を占め、また医療者の人的資源を消費してしまうので、数年前から「早く発見して早く改善しよう」とキャンペーンを展開しています。

慢性腎臓病(CKD)で人工透析をしている人は全国で30万人以上で、今も増え続けています。だいたい500人に1人の割合です。人工透析を受けると、年間一人当たりおよそ550万円かかるというわれています。国民全体の医療費の4~5%を占め、また医療者の人的資源を消費してしまうので、数年前から「早く発見して早く改善しよう」とキャンペーンを展開しています。

慢性腎臓病(CKD)で人工透析をしている人は全国で30万人以上で、今も増え続けています。だいたい500人に1人の割合です。人工透析を受けると、年間一人当たりおよそ550万円かかるというわれています。国民全体の医療費の4~5%を占め、また医療者の人的資源を消費してしまうので、数年前から「早く発見して早く改善しよう」とキャンペーンを展開しています。

慢性腎臓病(CKD)で人工透析をしている人は全国で30万人以上で、今も増え続けています。だいたい500人に1人の割合です。人工透析を受けると、年間一人当たりおよそ550万円かかるというわれています。国民全体の医療費の4~5%を占め、また医療者の人的資源を消費してしまうので、数年前から「早く発見して早く改善しよう」とキャンペーンを展開しています。

本県の慢性腎臓病(CKD)患者数は約24万人で全国平均と同程度の実に成人の8人に1人に上る。また、全国的に人工透析患者も増加しているが、本県の腎臓病透析治療は、新潟大学を中心とした医療関係者の尽力により、全国でも高いレベルにある。一方、県では糖尿病、慢性腎臓病などをテーマとする、疫学コホート研究を魚沼地域で新潟大学と連携して推進し、生活習慣病の予防対策強化を図っている。そもそも腎臓とはどういう働きをする臓器なのか。慢性腎臓病とは。本県の腎医療の現状について、新潟大学医学部成田一衛第二内科教授と泉田裕彦県知事が語り合った。司会是小田敏三新潟日報社常務取締役。

(敬称略)

慢性腎臓病(CKD)で人工透析をしている人は全国で30万人以上で、今も増え続けています。だいたい500人に1人の割合です。人工透析を受けると、年間一人当たりおよそ550万円かかるというわれています。国民全体の医療費の4~5%を占め、また医療者の人的資源を消費してしまうので、数年前から「早く発見して早く改善しよう」とキャンペーンを展開しています。

慢性腎臓病(CKD)で人工透析をしている人は全国で30万人以上で、今も増え続けています。だいたい500人に1人の割合です。人工透析を受けると、年間一人当たりおよそ550万円かかるというわれています。国民全体の医療費の4~5%を占め、また医療者の人的資源を消費してしまうので、数年前から「早く発見して早く改善しよう」とキャンペーンを展開しています。

慢性腎臓病(CKD)で人工透析をしている人は全国で30万人以上で、今も増え続けています。だいたい500人に1人の割合です。人工透析を受けると、年間一人当たりおよそ550万円かかるというわれています。国民全体の医療費の4~5%を占め、また医療者の人的資源を消費してしまうので、数年前から「早く発見して早く改善しよう」とキャンペーンを展開しています。

慢性腎臓病(CKD)で人工透析をしている人は全国で30万人以上で、今も増え続けています。だいたい500人に1人の割合です。人工透析を受けると、年間一人当たりおよそ550万円かかるというわれています。国民全体の医療費の4~5%を占め、また医療者の人的資源を消費してしまうので、数年前から「早く発見して早く改善しよう」とキャンペーンを展開しています。



新潟県の腎医療

# 慢性腎臓病 8人に1人



向が強まり、男性で6370歩、女性で5676歩と目標男性8600歩、女性7600歩)から大きくかけ離れています。県では「ウォーキングロード109選」を用意しました。風光明媚なポイントも多く、実際に歩いてその良さを実感していただきたいと思



年に一回は健診を

## 早期発見、早期治療で重症化を防げます。

す。その原因は何か、なかなか特定できないのですが、食習慣、生活習慣など、必ず何かあると考えて研究を続けています。

——南魚沼市を中心にコホート研究（疫学研究）が進められているということですが。

泉田 魚沼基幹病院（仮称）に併設する「魚沼臨床研究センター」（仮称）は慢性腎臓病（CKD）、糖尿病などに対応するため多数の研究医が集うメディカルタウンに育てていきたいという夢を持っています。南魚沼市には、国際大学をはじめ北里大学保健衛生専門学校など「知」の集積がありますし、首都圏からも遠くない。「雪

塩分控え歩きましよう

## 保健指導、栄養指導をさらに呼びかけます。



泉田裕彦氏  
新潟県知事

ます。

泉田 それに先行して、新潟県がこの1月、新潟大学に寄付を行い「健康増進医学講座」（新潟県寄付講座）を開設してもらっています。研究テーマは主に糖尿病、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病と地域との関係を調査分析するもので、東京大学とも連携する予定で調整中です。県内でも魚沼地区は古くから住み暮らしておられる人が多く、人の動きが少ない地域ですから、長期にわたり健康状態と生活習慣や環境の状況の関係を調査分析しやすい研究フィールドなのです。

成田 県のご協力はもちろんで

成田一衛氏  
新潟大学医学部第二内科教授

すが、地域の自治体をはじめ、住民の皆さんが協力してくださるのがとてもありがたいですね。今のところ、調査の同意を健診を受けた人の75%以上の方々から頂いており、今後の成果が期待できます。これからもこの調査を継続していきたいと考えています。また、新潟大学では人口移動に特徴がある他の2つの地域での調査も進んでいます。各地域の特徴と新潟県の共通性が明らかにされ、それらと病気や健康との関連性が分かり、新潟県や日本人の健康に貢献できればと考えています。

泉田 魚沼地域をはじめ県内の各地域は世界的に見てもコホート研究の成果が出る可能性が高いと思います。もともと日本には戸籍制度が以前から確立されていますし、追跡調査もしやすいところから、医師、研究者から注目されるようになれば、生活習慣病に関する研究の中心地に成長し、メディカルシティになればというのが私の夢です。

成田 私たちは昨年、慢性腎臓病の市民公開講座を新潟テルサを会場として開きました。参加者は医師をはじめ薬剤師、看護師だけでなく、多くの市民の方が集う有意義なものとなりました。このような活動も続けていきたいと思えます。

——これまで慢性腎臓病（CKD）についてお話しいただきました。中でも糖尿病や、高血圧症、心疾患と結びついた場合は重症化するリスクが高いことがわかりました。最後に県民へのメッセージをお願いします。

成田 生活習慣病の重症化を予防するため、年に一回は健診を受けていただきたい。血液検査と尿検査をすれば腎臓に異常があるかどうかわかります。早期発見、早期治療をすれば重症化する前に健康を取り戻すこともできるのです。

泉田 健康診断の受診率は約30%台と低迷しています。市町村の枠を超えて地域で気軽に受診できる工夫をしたいと思えます。と同時に県民の皆さんも日々の塩分摂取をできるだけ控えて、毎日歩くことをはじめ、大いに運動をして病気にならないように幸せな生活を送りたいです。

企画・制作／新潟日報社企画事業部